

境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について

経済通商総室
通商物流チーム

1. 運航状況全般

- ◆ 8月16日現在で、境港～東海間を13往復、東海～ウラジオストク間を6往復。
- ◆ 延べ乗客数も約8,000名となり、依然、東海～境港における韓国人ツアー客の利用が好調。
- ◆ 一方、日曜日の便は満席に近い利用となっており、船内のサービスや設備面での改善の必要性も明らかになってきた。
- ◆ 貨物の動向については、大口の荷主誘致が引き続き課題。

2. 初就航からの運航実績（6月29日～8月16日）

<暫定集計>

| 項目 | 合計 | 境港～東海 | 東海～ウラジオ |
|----------|----------------------------|-------|---------|
| 運航回数（往復） | 19回 | 13回 | 6回 |
| 乗客数（人） | 7,989 | 7,478 | 511 |
| 平均乗客（人） | 420 | 575 | 85 |
| 貨物量 | 1.4 TEU（207トコンテナ換算）＋パレット貨物 | | |

<主な貨物の内容>

- 【境港→東海】 電子部品、酒類、建設資材、工作機械、活魚
- 【境港→ウラジオストク】 農産物、船舶部品、重機、自動車部品
- 【東海→境港】 建設資材、水産品、加工機械
- 【ウラジオストク→境港】 水産品
- 【東海→ウラジオストク】 中古自動車、自動車部品、重機

3. 最近の主な動き

- ①貨物、旅客の誘致のに向けた県の支援体制
 - ・緊急プロジェクトチームの体制は7月末をもって一部縮小したが、ベースカーゴの確保などは重要な課題であり、商工労働部内に貨物誘致を支援する職員を置くなど、プロジェクトチームの活動は継続。
- ②境港におけるスムーズな入国手続きの確保
 - ・韓国人の入国に2時間以上要することがあるなど、手続きの迅速化が必要。
 - ・据置型の入国管理システム（現在は携帯型）の導入について8月7日、知事が法務省官房審議官に要望。
- ③鄭泳太DBS社代表理事の来県
 - ・8月21日（金）、知事及び県議会議長を表敬予定。
 - ・最近の運航状況の報告、県と連携した貨物・旅客の誘致、鳥取県からの要望等についての意見交換を行う予定。
- ④日本法人「DBSクルーズフェリージャパン㈱」の体制強化
 - ・9月から職員1名を増員する予定で、現在本社にて研修中。

4. 今後の主な取組

- ①ウラジオストク鳥取週間での物産展の開催
 - ・9月6日～20日、ウラジオストク市にて鳥取県の農産品の試食販売、食品、工業品等の展示PRを実施。併せて、ビジネスマッチングのための商談会を行う予定。
- ②鳥取県、江原道及び沿海地方の三地域が連携した航路活性化推進の取組
 - ・9月上旬に鳥取県、江原道及び沿海地方の知事が航路活性化推進協議会（仮称）の設置について合意する予定。